

事務事業評価シート

(H.29)No.	3058	(H.28)No.	3058
-----------	------	-----------	------

事務事業名	商工業振興事業補助金		
担当部局名	担当室名	室長名	
産業部	商工経済室	福田 浩士	

会計区分	事業コード	362001
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 商工費	新産業の創出・育成事業	
項 商工費	(小事業名)	
目 商工業振興費	商工業振興事業補助金	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	活力に満ちて暮らせるまち
	基本施策	1	地域産業の振興
	施策	2	商工経済
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
商工団体等が実施する各種事業を支援することで、市内商工業の活性化を図る。
事業内容
商工団体等が実施する各種事業に対して補助金を交付する。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.28年度(事業量・取組実績)		H.29年度(事業量・取組計画)		
	主な事業の実績・計画	商工業振興事業補助 補助先 ・桔梗が丘商店会 ・東町東栄会			

	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)

	H.28年度(決算見込)		H.29年度(作成時予算額)		H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)
	H.27繰越分	H.28現年分	H.28繰越分	H.29現年分			
①直接事業費		326千円		0千円			
内訳 (千円)	国・県支出金						
	地方債						
	その他()						
	一般財源	0	326	0	0	0	0
人工数	職員		0.05人	0.00人			
	臨時職員等		0.01人				
②概算人件費	0千円	392千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
①+②総事業費	0千円	718千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.28年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
各種事業補助により、市内商業の活性化に貢献したが、事業内容が定例化しており、対象とする事業要件の精査が必要である。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	廃止検討
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	6. 事務事業の取組に関する市の計画
商店街の集客向上、店主の連携促進など効果的な補助の在り方を検討した結果、H28年度をもって、補助金交付は廃止。今後は、市内産業の活性化のため、商店街等の団体による新たな企画を誘導できるよう間接的な支援を引き続き行っていく。	名張市産業振興ビジョン